Global Can-do List (高校 保健体育 [体育])

目指す生徒像:運動の合理的な実践を通して、合理的な運動についての知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高く持ち、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続することができる生徒

No. 管質 計力

解説

1	課題解決能力	課題解決学習を通じ 康・安全の課題克服 する研究及び実践が る。	・個人での課題解決 に取り組むことによ 会の社会生活に イ、年度を道につ の修練問題に対して 参先して取り組み あったがの過る ががの過程で発見 た着かな限題に発し た。	・グループでの課題 挙習により、自身を 拳器により、自身を 後様課題につい 次に、合理的かっ数 た解決方弦を見らげ にかができる。 にができる。 にができる。 でがら過程で発見 だ着たな課題に対し だがっていくことが る。	
	幅広く深い教養	自己を取り巻く疾病, 生活習慣, 環境等の知識を習得し、 その対策, 対応 習得し、 その対策, 対応 方法, 評価方法の知識を 習得している。	・生涯を通じる健康、社会生活と健康を学び、み の知識な、 の知識な、 所まえた考察ができる。 ・自己及び社会における 健康問題に対して適切な 意思決定・行動選択がで きる。	・現代社会と健康を学び、その内容に対して現状と 書題を踏まえた考察がで ・自己及び社会における 健康問題に対して適切な 意思決定・行動選択がで きる。	
110.	資質能力	角军討	2 年	1年	
	5	在芸具版の意識 5いて、華先して活動に参 として、グループ活動をよ り組むことができる機度 「日の責任を果たそうとす	の面でボンジ。 は備、片付けなど自ら標施的に取り組み、活動の 迅速な開始・終了に寄与できる。 本等の目標、活動の内容をよく理解し、積極的に 活動するよう斑真に促すことができる。 ・クループ内でよく声掛けをし、チームワークを重 親しつ。自己、及びパープのレベルアップを図 ろうとする態度が身についている ・グルーブニッティンでは、本時の反省や次時~ ・グルーブニッティンでは、本時の反省や次時~ ・グルーブニッティンでは、本時の反省や次時~ ・リュメータを発揮することができる。 ・自主・自律の精神を持ち。自らが侵棄を作り上げ ・自主・自律の精神を持ち。自らが侵棄を作り上げ でいく自覚を持って活動をし、生涯スポーツの基盤 を作るうとしている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がかできる。 きる。 きる。 ・グループ内で発生した課題の近限に対し、積極的 こ取り組むことができ、斑真の模範となることができる。 ・グループ内で積極的に発言をし、グループ活動を 等引することができる。	・授業の準備・片付けを積極的に取り組むことができる。 ・積極的に活動に取り組み、自己の技能を高めよう・登極的になりともに、 響艦、及びグループ内での自己の役割、責任を里解し、行動することができる。 ・ブループ内で積極的に発言をし、自己、及びグループのレベルアップに貢献しようとしている。
	4	リーターンック 構態、及びグループ内において、睾丸して活動に参 加をし、積極的に声かけをして、グルーブ活動をよ りよいものにしようと取り組むことができる態度 がある。グループ内での自己の責任を果たそうとす	・準備、片付けなど自ら積極的に取り組み、活動の 迅速な開始、終了に寄与できる。 迅速な開始、終了に寄与できる。 ・クループ内でよく声掛けをし、チームワークを重 視しつ。1 自己、及びケループのレベルアップを図 ろうとする態度が身についている。 ラルーブース・ティングでは、本時の反省や次時へ ラルース・一クルース・アールのレベルアップを図 よったが、一般があれている。 ・ イルース・ロールの ・ イルース・ロールの ・ イルース・ロールの ・ 日主・自律の精神を持ち、自らが侵業を作り上げ ・ 「日主・自律の精神を持ち、自らが侵業を作り上げ ・ 「日主・自律の精神を持ち、自らが侵業を作り上げ でしく、自覚を持って活動をし、生涯スポーツの基盤 を作ろうとしている。 ・ ・ 班員のレベルに応じて、安全面に十分留意した話	שかいできる。 きる。 かループ内で発生した課題の克服に対し、積極的 に取り組むことができ、斑貝の模値となることがで きる。 ・グループ内で積極的に発音をし、グループ活動を 率引することができる。	・校業の準備・片付けを積極的に取り組むことができる。 ・積極的に活動に取り組み、自己の技能を高めよう ・投極的に活動に取り組み、自己の技能を高めよう 自己の役割、責任を理解し、行動することができる。 ・グループ内で積極的に発言をし、自己、及びグループのレベルアップに貢献しようとしている。
	3	コミュニケーション能力 グループ活動や、準備、 片付け等において、相互 に指導し合い、励まし合 うなど百を掛け合いなが たが過ぶるよ	・設定した課題について、 ・設定した課題について、 グループ内でよく話し合いできる。 ・グループ内でよく声を 掛け合い、励まし合いな がら活動ができる。 ・イループのレベルアップ 全図ることができる。 ・グループのレベルアップ で図ることができる。 ・グループ・ニースングでは、本時の反省や次時 への取組について積極的	- 28 日からない。 - 28 日かれた練習テーマトランで、グレープかで た 活しかい、 4 日の里郷 の下で活動できる。 - グループかで気のいた にと、改善すべきにとか 機種的に発言できる。	・グループ内で機能的に 発言をし、コミュニケー シ。 ・製在された練習テーマ について、グループ内で よく話し合い、相互理解 の下で活動できる。
SECTION OF THE	2	鉄塑庫が能力 各機技に対して、自己、 及びグループの改善点を 理解し、それを克服する べく合理的な練習を選び ないます。	・自己、及びグループの 特性を踏まえ、目標達成 のための練習計画の作 成、状況に応じた計画の 変更判断が的確にできる。 る。 れた河風の方限に向けて 練習のテーマを設定し、 取り組むことができる。 その種目を積極的に楽し。 もう士を様位のに楽し。 もう十ちを形だし、 ・グームにおいて、シア	きる。 技術の習得とチーム力向上に向けた取組ができる。 もえられた課題に対し、 ・与えられた課題に対し、 はにびてアレンジされ 性に応じてアレンジされ た様習をし、ゲームに生かすことができる。 ・活動後、自己評価をし、 が時の目標設定ができる。 ・活動後、自己評価をし、 がはの目標設定ができる。	 ・活動の内容を理解し、 自己、及びグループのレイのレイルアンプを図ることができる。 ・目標を設定し、目標到途に向けて積極的に活動ができる。 ・活動後、自己評価をし、活動後、自己評価をし、 ・活動後、自己評価をし、 ・活動後、自己評価をし、
THE C C C C C C C C C C		幅広く深い教養 各種機技のルールを理解 し、その合理的な練習と 自己・グループ内評価が できる。	・ 選択した種目について、そのルール、 競技の特性 ないく 単端 い 目の練習 計画を立案、 布成する い りができる。 ・ 周囲の販売を大く 観察 ・ の 国の販売を入りませることができる。 ・ 幅広い が輝から、 自己 評価・ グループ が輝から、 自己 評価・ グループ が輝から、 自己 評価・ グループ が輝から、 自己 評価・ グループ が輝から、 もこ すができる。	・種目について、そのル ール、競技の特性をよく 理解し、練習をすること ができる。 ・女全面に紹彦して、適 切な判断の下、活動がで きる。	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 1	- 1	1	T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	1	1

Global Can-do List (高校 保健体育 [保健])

目指す生徒像:個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質 や能力を持つ生徒

16

1年

2年

3年

Global Can-do List (中学校 保健体育) 目指す生徒像:体育・スポーツの意義や役割,福祉社会でのあり方など,体育・スポーツ・健康学を幅広く理解し,社会のニーズに貢献 できる生徒

	,	o	c	-	U
	T .	71	コミュニケーション能		c :
_	幅広く深い教養	課題解決能力	/	リーダーシップ	社会貢献の意識
自己客い築盤修己と観入しと得	自己と他者、あるいは百 日と社会との関係性を 存職的に担催し、より良 な関のに対象で、まり なりようとする際に基 策しようとする際に基 職となる幅広い教養を 修得している。	体育・スポーツ科学の知識・理解を深め、技能・ 職・重調を深め、技能・ 態度を身につけ、自己の 知性を高め、課題を発し し、問題解決の方策を探 ることができる。	グループで役割を分担 したり、年間を援助した りと、4回に協力し続え 合うなり百と節わらいな ながら活動ができる。	自らが規範を示し、周囲 や組織に挙任しながら 目標を適成できる。	地域社会において健康 や運動の役割を選択し、 健康の役割を選択し 健康の保持増進のため の実践力の向上を図る ことができる。
・ 識術 えで・練こと 、 。 でよ 胃 ン	・習得した基礎的な知 職,技術を生かし、職 所・職略を自分たちで考 え,就合職官自分たちで考 てできるようになる。 でできるようになる。 様習を工夫し挑戦する ことができる。	・体力の向上についての 課題の解決を図るため に、動きを発展させ、選 動を工夫したり、運動を 組み合わせたりするこ とができる。	・語し合ったり、教え合 ったりするなど、仲間と 豊かに関わり合いなが ら、互いに役割を果た し、積極的に運動に取り 組むことができる。	・リーダーを中心に、オ リジナルルールを作り、 それを基に、グループご とにどの様に複楽全体 に結びつけていけるか。 を考えることができる。	・運動やスポーツは、身体の発達やその技術の 維持、体力の向上といっ た効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心 用的効果も助待できる ことを説明することが できる。
・し一段にあた・し	・運動の必要性を認識 し、預慮的に運動やスポーツの合理的な実践に ーツの合理的な実践に のとの理がな実践に のを必要性などを理解 できる。 ・各種目のパールを理解 し、正しく実践できる。	・運動の聴旨やねらい、 適切な運動の行い方に ついて理解し、課題に応 と工産動の取り組み方 を工夫することができ る。 ・運動技能上達のための ・運動技能上達のための ・運動技能上達のための ・運動技能と達のための ・運動技能と達のための ・ 解し、実践できる。	・励まし合ったり、賞賛 し合ったりするなど仲 間と関わらいながら、 分担した役割を求たし、 で養養的に運動に取り 組むことができる。 ・各価目の練習内容を理解し、 ・各価目の練習内容を理解し、 ・各価目の様でできる。 ・各位に下ドイスタウとながら活動できる。	・1年次から行っている 生徒間で嬢かることや 助ますことを継続し、クラスを体がし、タラスを体がし、 ラスを体がしまる。 の中で複業ができるよ ・男女という性整だけで ・男女という性を倒せの意いを を技術レベルの強いを 考えながらクラス全体 が良い祭用気の中で複 素が進むにはどうした がませれたはどうした がはむにはどうした とよいか老語し合うこ	・健康と環境について、 関値解決を目指して、知 調を活用した学習活動 により、学校生活や地 域・家庭生活といった。 生活に活かそうとする ことができる。
・捷的身る・学動が・来る基性なに。色ぴみで出たこ	・基礎体力、調整力や展 維性を兼いながら基礎 的な運動能力や技術や る。付わることができ からな種目のルールや 呼び、考えながら身体を ができる。 ・田米なかったことが出 米下時の楽したとが形 ることができる。	・体力とその要素について理解し、自己の体力の 現状に応じて課題を見 つけ、合理的に体力を含ための取り組みが できる。 理的な練習が必要でき ろことを理解し、活動で きる。	・仲間との交流を主にして、自分や仲間への気付 ・ 調整としながら、第 しく気能に身体を動う。 し、中間と関わり合いな がら積極的に運動に取 り組むことができる。	・個人な個人では、技術 レベルが高い生徒が他 に生徒に活力して教える にとができる。 ・ イグループでは、スメ ー イグルーンメイトへの 関連に大変をることで、 実技に対する不安感や、 ま技に対する不安感や、 一 を中心にどのように かっとができる。 ・ わざとでなくても衝突 したら難ったりすがけ をしたら関ット	・運動やスポーツを実際 に「する」類点と共に 「見る」類点や、「文え る」という視点で多様な 関わり方があることを 略年次、運動やスポーツ に積極的に関わること ができる。

Global Can-do List (高校 音楽)

		50000000000000000000000000000000000000		V.Mer.A○	R# Jish ara	
5	社会貢献の意識	生涯にわたって音楽を愛好する心情を持ち、生活や社会との関わりを考え、主発や 会との関わりを考え、 境への高い関心を有していること。		・様々な音楽活動を画して 音楽を愛好するい情を画して み、生態におたった情を青 お折に歩って上述を を持つにいるなら	・音楽の棒つ多様性を理解 ・音楽の棒つ多様性を理解 し、人間に とって音楽の存 在価値を考えることができ る。	
4	リーダーシップ	様々な音楽活動を通じて主体的・建設的な意見を出し、 ・ ないできまわしい。 ・ ないできるからい。 を提案することができること。 と。	[泰也] ※曲にふおわしい聚唱洗に りいて、多様なイメージか のグループ雑目の表現法を 値出し継条することができ る。	「器楽」 様々な表現形態による器楽 の特徴を理解し、多様なイ メージの中から独目の表現 法を提案することができ る。	(創作) 音楽を形作っている要素と その働きを理解し、自他の イメージを取り入れなが ら、新たな方策を提案する ことができる。	【鑑賞】 多種の音楽について構造上 の特徴や美しさとの関わり を理解し、自分たちの表現 につなげるための方策を考
3	コミュニケーション能力	歌唱(合唱)や器楽の重奏、 創作などの活動を通じてお 互いを理解し、高め合うこ とができること。	「歌画」 ※曲にふさわしい歌唱法についた、他者と協力して、 イーンを想起させることが できる。	【器楽】 Duct、重奏ともにお互いの 価値観や考えをグループ内 で議論し、よりよい表現を 見つけ出すことができる。	[創作] 出作についてお互いの価値 穏や考えをグループ内で議 職し、自分の意見を他者へ 伝えることができる。	「鑑賞】 多種の音楽についてそれぞ れのよさや美しさを自分の 言葉で表現することができ る。
2	課題解決能力	音楽の諸活動を通してより 良い表現やその方法を導き 出す力を備えていること。	[歌唱] ※曲にふさわしい歌唱法に ついて、 試行錯誤しながら 表現形態を見つけることが できる。	[器楽] 様々な表現形態による器楽 の特徴とその表現上の効果 を生解し、工夫して演奏で きる。	[創作] 音楽を形作っている要素と その働きを変化させ、自分 で表現が注を導き出すこと ができる。	「鑑賞】 我が国の伝統音楽や諸外国 の音楽と、それぞれの特徴 について理解を深めること ができる。
1	幅広く深い教養	芸術の諸活動を通して高い 感性と豊かな情操を身に付けていること。	[歌唱] 音楽を形作っている顕素を 知覧し、それらの働きを感 受して表現することができ る。	【路楽】 様々な歌曲の歌詞や曲想を 感じ取り、表現を工夫して 歌唱することができる。	[創作] 音楽を形成している顕素と その働きを理解し、創造的 に変奏や簡曲をすることが できる。	【鑑賞】 作品の構造上の特徴や美し さとの関わりを理解し、鑑 賞することができる。
	資質 能力	角程設		Ę	# #	

Global Can-do List (中学校 音楽)	自己のイメージや想いを伝え合ったり他者の意図に共感したりできる生徒
	目指す生徒像:音楽活動を通して,

ı	3 社会貢献の意識	様々な音楽活動を通して音楽を愛好する心情と, 生涯にわたって, 生活や社会に 生活や社会に 生がたいっていっとする気持ちや態度を身に付けている				・様々な音楽活動を通して ケループやクラスで意見を か新し下り上い寿却の仕す	でするである。 あった かいしょう かいしょう	・音楽の多様性を理解し、・音楽が的視りを広げ、音楽文化についての理解を深めることができる。		
に共感したりできる生徒	リーゲーシップ	様々な音楽活動を通して、 主体性を持ってコニュニケーションを図り、他者の意 しを取り入れながら、楽曲 にふなわしい表現方法、楽曲 集することができること。	(歌唱) 楽曲にふさわしい表現の 方法を考え、他者の意見も 取り入れながら、よりよい し、グルーンの演奏をまと めることができる。	「器楽】 表現したい思いや意図を持ち、要素の働かせ方を考え、 他者の意見も聞きながら、 よりよい表現の方法を提案 することができる。		から で かが か か か		[報報] 楽曲にきわしい表現の方 弦を考え他者の意見も取り 入れながら、よりよい発声 弦や表現の仕方を提案する ことができる。	「関係者 対策を 対策を が関係する が関係する が関係する が関係を が可能を がのが がのが がのが がのが がのが がのが がのが がの	
合ったり他者の意図		合唱や器楽アンサンブルなどの音楽活動を通して、他どの音楽活動を通して、他生とのかわりについて理解を深め、協力して表現を解を深め、協力して表現を高めていこうとすることができること。	「歌唱】 発曲にふさわしい歌唱法を グループで話し合い。イメ ージに合った表現方法を見 つけることができる。	「器楽】 実現したい思いや意図を特 も、要なの働かせ方を考え、 グループで議論をして、よ りょい表現の方法を見つけ 出すことができる。			「鑑賞】 音楽に対する自他の多様な 価値観を理解し、音楽を多 面的に捉えながら鑑賞する ことができる。	「歌唱」 ※曲にふなわしい歌唱法 をグループで話し合い、イ メージに合った表現の方法 を見つけることができる。	「器業」 表現しい思いや意図を持 数のでのである。 一プで考え、よりよい表現 一プがを見つけ出すことが できる。	
自己のイメージや想いを伝え	2 課題解決能力	様々な音楽活動を通して, よりよい音楽表現方法を導 き出すことができること。	【歌唱】 ※曲にふさわしい表現の方 法を考え、試行錯誤しなが らよりよい発声法を身に付 けることができる。		【歌唱・器楽】 表現したい思いや意図を持ち、要素の働か社方を試行 端訳し、よりよい表現の方 活を見いたして演奏することができる。	「創作・卒業制作】 着等で表現したいイメージ を持ち、構成や毛が まりを考えて作曲をし、ど のひように演奏するのかにつ いて思いや意図を持って創 作することができる。	【鑑賞】 諸外国の様々な音楽の特徴 と多様性に関心を持ち鑑賞 する学習に主体的に取り組 もうとしている。	「機能」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「翻楽」 一部の役割と全体の職きと の関わりを仕かした音楽表 現をするかけのを取りた対 でのよったが一のである。 たりすることができる。	[創作] 音楽を形作っている要素を 知覚し、声部の役割と全体 の響きとの闘おりを理解 し、思いや寛みを持つて音 は、思いや寛本枠ので音
徒像:音楽活動を通して,	1 幅広く深い教養	歴史的背景など広 音楽に向けての音 7理解を深められる	【歌唱】 がなな発声方法や表現の仕 万巻かり、曲種に合った歌 い方を工夫することができ る。	「器楽」 様々な楽器の奏法を知り、 音色や奏法を工夫して、曲 種に合った表現ができる。		る タイン 素シーが のをから	C化的・歴史的背景 着, 演奏者の表現の 理解して鑑賞するこ きる。	 製々な発声方法や表現の仕 方をを切り、 離い方を工夫することがで きる。	器の奏法を知り, た表現ができる。	[創作] 音楽を形作っている要素の 働きを理解し、メロディに 合った対旋律を創作するこ とができる。
目指寸生徒像	No. 資質 能力	角军部			3年				2年	

21

20

Global Can-do List (高校 美術) 活動を楽しみ、自他の文化を尊重し、主体的に表現できる生徒

美術の創造活動に関わる 美術 (表現と鑑賞活動)は、グルーブ単位で行う鑑賞活 美術が新しい価値観を社会 様々な能力 (主題生成の能 感性を養うだけではなく、 動等において、的確な判断 に発信することで、文化の カ・創造的に構想する能 社会の中で主体的に生きる や発言ができ、グループ活 流れを創造し、社会に質能 カ・表現しながら更に構想 力を育む活動であることを 動を有意義で活発なものに する働きや役割を持ってい

社会貢献の意識

リーダーシップ

コミュニケーション能力

ることについて理解できる こと。

導こうとできること。

を確かめ繰り直す能力・材 認識していること。 科や用具の特性を生かし創 意工夫して表す能力等)を 身に付けていること。

品 No 企 会 完	角容影			4
	1. 原々画3588次次4年	//w ープペッラスで意見を 交換しより・次製の仕方 を工夫したりする中で、 書の考え方や物の見方を理 解し 単重することができ る。	・ 市業の参集所の関係が ・ 市業の対象を表現した。 ・ にいていての関係を表める ・ 投げに対しての ・ 投げに対象して所有 ・ 投げに対象して所有 ・ 投がに対象して ・ は、 ・ は 、 ・ は 、	رچ ٥٠
情報なあれるたとなる。 は本格を表すったのなか業の し、本化のの意味を選集を登録 し、本位の意味を選集を選集を がの数が関係の成りな がの数が関係の成りな がの数にのが確確をの存 がのなが国ののないな 変数での参議中を開催して、 業別したり価値や基外として、 がある。	「歌唱】 歌画の内容や曲想を感じ取 り、どのような表現の工夫 をするのかを自分なりに考 え、提案することができる。	提換	(動作) なな曲作りにおいて、リズ ムカードを活用しながらグ ループのイメージに合った 表現の仕方を提案すること ができる。	「解析】 関係 関係 対の 対の 対の 対の がの がの がの がの がの がの がの がの がの が
「機能」 指操に対する自他の多様な 直体観を理解し、音楽を移 面的に記えながら購買する ことができる。	「歌唱」 楽曲にふさわしい表現の 方法を考え、他者の意見も 取り人れながら、よりよい 発声法や表現の仕方を提案 し、グループの演奏をまと めることができる。	「器楽】 表現したい思いや意図を持ち、要素の働かせ方を考え、 も、要素の働かせ方を考え、 他者の意見も開きながら、 よりよい表現の方法を提案 することができる。	「創作」 イメージに合ったメロディ イメージに合ったメロディーから アイデアを掲案し、中間の 万人も取り入れながら、1 の原品を創作することが できる。	「
「開覧」 ・ 一個である。 ・ 一個では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	にた発声, 言葉の J心を持ち, それら TC駅う学習に計体 J組むことができ	・機に関心を持ち、 ・奏法で演奏する学 に的に取り組もうと	「創作」 音楽を形作っている要素を 知覚し、それらの働きが出 今出す特質や雰囲気を概め してから、実報の特徴を出 してから、実施の特徴を出 かして音楽表現を工夫し 題いや意図を持って演奏す ることがたきる。	「個作」 音楽を形作っている要素を 知覚し、音楽の要素や構造 と曲想の関わりを感じ取っ て解釈したり、価値を考別 がり、自分の一種で説明 することができる。
「機能」 地が回る場上の反称が発 無難レルだがいの本質が単 発して機関することができ め。		【器楽】 様々な楽器の奏法を知り、 曲に合った表現ができる。	自動作 一個本の 電車を発化すっている 電車を発化され、イメージ や等って液薬曲を作るに だらする。	・観光 ・投が国や郷土の反統音楽 の種類とそれぞれの存録を 理解して鑑賞することがで きる。
			1年	

750											
Global Can- 自他の文化を尊重し,主体	2	課題解決能力	美術の創造活動に関わる 様々な能力(主題生成の能 力・創造的に構想する能 カ・表現しながら更に構想 ・ル・ははのエール・土・エー・	を幅が90株り回り能力・20 料や用具の特性を生かし創	意工夫して表す値力等)を 身に付けていること。	[A表現]	制作を進める過程において、想像力を働かせながら よりよい表現を模索して努力することができる。		[B鑑賞]	芸術作品の良さを味わい、	感動する心を祥ひ, 互いの 作品の優れたところを見つ けようとすることができ
目指す生徒像:造形活動を楽しみ、	1	幅広く深い教養	表現と鑑賞の活動を通じて 美術の楽しさや創造の喜び を味わうことができること	美的感覚や価値観を育み、	TANO YEAPONT CHRADINA 表現したり鑑賞したりし、 生涯を通じて美術を愛好し ていく心情を持っていること。	[// 表現]	我が国及び諸外国の美術文 化について理解を深め、そ れを尊重し愛着を持つこと ができる。		[B鑑賞]		化いついて理解を探め、イれを尊重し愛着を持っことができる。
目指す生	No.	資質能力		角军司兑					1年		
はな田原の	*	40.	数末巻。	・様々な中後活動を油して	ゲーンやグラスで意見を な後しよりまり表現の仕方 を生しましたものを知る を立ましたりする中で き 手の考えがや物の見方を囲 解し 離することができ る。 ************************************	・ 自来の多様性や無難し、 著様的視野を広げ、音楽文 が 化についての理解を深める	た にかなさる。 ・ 投が国や郷土の伝統音楽 及びびンプを地域の部外国の 音楽の特徴から音楽の多様 柱か鏡に取って、解釈した	とができる。 音	#1.00 20	,	
「鑑賞】 音楽を形作っている音楽の よさを味わい、要素を知覚 し、それらの働きが生み田 する報音や雰囲のを感のしな する。	かっ枚が国の存約=米の、後から必須在や田錦一と	解釈したり価値を考えた しながら鑑賞することが きる。	【歌唱】 歌詞の内容や曲想を感じ取 り, どのような表現の工夫 をするのかを自分なりに考 え, 提案することができる。		ノンボル。	【創作】 変奏曲作りにおいて, リ. ハカードを注明! かがら.	ナング トーロース・アンドラン 大型の仕方を提案すること ができる。	【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽及 びアジア地域の諸外国の音	米の右倒がつ山米の多様とか続い取った、解釈したの価値を払いたったの	はない ないない こうしん はんない こうしん はんない こうしん はんない こうしゅう はんない こうしゅう はん はんしゅう しゅうしゅう しゅう	
「鑑賞】 音楽に対する自他の多様な 価値観を理解し、音楽を多 面的に捉えながら鑑賞する ことができる。			「歌唱】 ※曲にふさわしい表現の 方弦を考え、他者の意見も 取り入れながら、よりよい 発声法や表現の仕方を聴案 と、グループの演奏を	めることができる。	「器楽】 表現したい思いや意図を持ち、要素の働かせ方を考え、 も、要素の働かせ方を考え、 他者の意見も聞きながら、 よりよい表現の方法を提案 することができる。	[創作] イメージに合ったメロディ かし^ スキをに - ロなら	ストンでは、1797、1797、アイデアを指案し、仲間の意見も取り入れながら、10の作品を創作することができる。	【鑑賞】 鑑賞後に意見を交換するこ とで, 同じ曲を鑑賞しても,	国へ入たよう、様々な感し力があるといを理解するいアだらなる。	° à	
 			【歌唱】 曲種に応じた発声, 言葉の 特件に関心を持ち, それら を生かして歌う学習に主体 めに取り組むことができ る。		「据薬」 楽器の特徴に関心を持ち、 基礎的な奏法で演奏する学 習に主体的に取り組もうと している。	[創作] 「操を形作っている要素を 「事」 タセ C C 種々式生	*13.1、14.4の20個のが出す体質や機関や機関や機関を かながら、楽器の特徴を出って っした音楽表現を工夫し、 にいや意図を持って演奏す こことができる。	【創作】 音楽を形作っている要素を 育覚し,音楽の要素や構造	N田約の函わり外級フ長り 大解釈したり、 宙面が粘水 たっし、 巨公の訓練が超	することができる。	
【鑑賞】 我が国や郷土の伝統音楽の 種類とそれぞれの特徴を理 解して鑑賞することができ る。			【歌唱】 様々な発声方法や表現の仕 方を知り、曲種に合った歌 い方を工夫することができ る。		&器の奏法を知り, た表現ができる。	創作】 楽を形作っている要素の キを赤かま井 ノメージ	king E, イベンで変奏曲を作ること。。。。	【鑑賞】 ・我が国や郷土の伝統音楽 の種類とそれぞれの特徴を	٥		
						1年					

る社会の基盤となり得ることを理解することができる。

美術が想像力を育み, 豊か

目標の共有や,その目標の 達成のための率先垂範,そ

主体的に作品を鑑賞し、そ

B鑑賞

B鑑賞

B鑑賞

感動する心を特ち、互いの の良さや美しさなどを感じ 違板のための率先無衡、そ な創造性をもたらすととも作品の優れたところを見つ 取り、味わい、調べたり、 して仲間に働きかけて活動 に、共感する心を通して人けようとすることができ 討論や推評をし合ったりす をサポートすることができ 問題係を豊かにし、共生する。

ることを通して作品に対す る理解を深めることができ る。

グループワークの際に、数、協働が求められる制作活動、様々な制作活動等を通し 員と生徒、あるいは生徒同 において、目標設定や共有、て、自己を見つめ、自然や セワデースカッションを通 の仕方、数なの巻き込み方 美術作品、利用の生きる数 レフデーマや表現が注を介、などを自然発生的に発揮す。やみの解釈にある環単や観 だすることができる。

[A 表現]

[A表現]

[A表現]

ことができる。

Global Can-do List (中学校 美術)

JiObal vali uo List. (ヤーヤン 来所) 目指寸生徒像:造形活動を楽しみ, 自他の文化を尊重し, 主体的に表現できる生徒

,	-	c	c	Ŀ
No.	1	7	rs or	c
電力	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	社会貢献の意識
角军記述	・目標として設定した専門的知識・ 技能を有していること。 ・幅広い教養と基礎知識を有していること。	・物事を多面的に捉えることができること。 ること。 ・課題を見っけ、試行錯誤しながら より良い解決法を見っけて提案できること。	・主体性と協調性を持って、コニュニケーションできること。	・国内や国外の実情・事柄について意識を高めていること。 ・社会とのかかわりを意識して作品制作に取り組むことができること。
34	【多様な空間表現】 ・社会における美術の役割について もなる。 ・空間表現の変遷や表現方法につい で理解して、表現方法を工夫して作 品を制作できる。	[新七大細工] ・繰り返し模様を効果的に配置した デザインを考え、制作全体を迅通し て効率良く制作できるように考え、 実践できる。	(相互鑑賞) ・相互鑑賞を行い、他者のアイ デアの良さから学ぶことができ ・自他の作品から表現のならい ・自他の作品から表現のならい を読み取り、その表現のよさを 見つけることができる。	【社会の中のアート】 アートイベントに馴味をもち、機 会があれば参加することができ る。
	【寄せ木細工】 ・日本人と木の関わりや伝統工芸に ・ロケバと配る。 ・色と形と配置の効果について考え 表現することができる。	「多様な空間表現」・空間を表現するために、色と形と 配置の効果を工夫して表現することができる。	[寄せ六細工] ・脚作方法のアイデアを共有す ることが出来る。	(多様な空間表別) ・透視図法と多様な空間表別について知る。 ・美術表別において、作者と社会 との関わげついて簡本解こうと することができる。
	[日本の美意識] ・日本の文化について身近な生活と 照らし合わせて考え、その特徴を理解できている。	【視覚伝達デザイン】 ・自己と社会との関わりにおいて課題を見っけ、解決に向けて主体的に 構想を載ることができる。 ・色と形を配置を使い、課題に対し	[相互鑑賞] ・自他の作品からその表現の良 さを見つけることができる。 [視覚伝達デザイン]	[90%のためのデザイン] ・Q ドラムからデザインの可能性 について考えることができる。
	[イメージを広げて] ・抽象表現について考え, 材料の特性を生かしながら表現することが できる。	て適切な表現を選び作品にまとめることができる。	・与えられた課題について話し 合い、アイデアが適切であるか どうかを相互に適切に評価する ことができる。	【イメージを広げて】 ・抽象表現について知り、社会と のかかわりと美術表現の変遷につ いて知る。
2年	[日本の美意識] ・日本文化の良さを主体的に味わう ことができる。	【イメージを広げて】・抽象表現について知り、材料の特性を生かしながら表現することができる。		
	【復覧伝達デザイン】 ・色と形と配置を使い、表現上の特徴やねらいを読み解くことができる。	[権朱工芸] ・日本固有の素材を使い、素材の良 さを生かした作品を制作すること ができる。		
	(美格館レポート)・美格・博物館館の社会的な役割について実際に訪問し、インタビュー 等を通して調べられる。	【美術館レポート】 ・美術・博物館館の社会的な役割や 課題について知り、自分の意見を加 スペレポートにまとめる。		【美術館ンポート】 業者・報整館館の生命が表記や 課題について知り、アポートにま とめて、プレゼンテーションがで きる。
	[文字のデザイン] ・視覚伝達における色と形の役割に ついて理解する。	【文字のデザイン】 ・課題に合わせて, 色と形を生かし て構想を練り表現することができ る。	[相互鑑賞] ・	[美術館訪問] ・美術館の社会的役割を知る。
<u>+</u>	「網筆を使って」 ・絵画表現における線と面の役割に 1文字のデザイン」 ・器みやすく伝わりやすい文字のデ ザインについて知る。 ・選権が結び ・実権が結び ・対係程鑑賞などの鑑賞法を知り、 対係投機でとり鑑賞法を知り、	デコアコイ ・立体表現について主体的に構想を 練り表現することができる。	【文字のゲポイン】 ・ キスられた課題について、ア イデケが適回であるかどうかを 語し合うことができる。	

(高校 外国語) 2019. Global Can-do List

グローバルリーダーとして、様々な視点から情報を収集し、適切に課題を設定し、対話や議論を通じて社会貢献・国際 貢献に寄与するための方策について英語で意見を交換できる。 目指寸生徒像:

グローパルリーダーをめざし,様々な視点から情報を収集し,課題を正しく理解し,社会貢献・国際貢献に寄与す (中学校 英語)

Global Can-do List

るための意識を高め、英語で自分の考えを表明することができる。

日指す生徒像:

ともに,自らの意見を適切 に表現し,伝えることができる。

ことができる。 ・与えられた情報を批判 発見・解決することがで ・課題解決のために, 知 を出し合い, 複数の解決

的に分析・評価し, 課題を

ある物事に対して関連する知識を英語で ・英語を通して物事を

多く有している。

解說

・聞き手の人数など状況を

踏まえ,アイコンタクトや ジェスチャーなどを効果

職を活用しながら解決策 的に用いて意見を伝える

ことができる。

相手の意見を理解すると

・考え方や価値観の異なる

PDCAサイクルを用 いて自ら課題を解決する

・国際社会での日本を 意識し幅広い教養を

コミュニケーション能力

課題解決能力

幅広く深い教養

資質

対する自分の意見を,立場を 明らかにして表現することが ・ゲループの中でメンバーの

を設定し、さらに深い学び

のかり

応じて質問や聞き返しをしな

・相手の発話に対し,必要に がら 意図を明確にし、それに

・自己の学習方法が確立し ており、教師の働きかけが なくても自ら具体的な課題 につながるように, 自律し

> れてある情報を知るだ けでなく,自ら global ssues について興味関 いい関わらず深く描く, 様々な事柄を関連付け

学習した題材に書か

出すことができる。

策から最善の解決策を見

・英語を通して物事の 関連性を発見するこ

多面的に捉えること

ができる。

チャー,アイコンタグトなどに 自分で工夫を加え,自分の

考えを述べることができる。

・必要な情報を取捨選択し ながら, 他者と協力して具

を設定することができる。

本的な解決策を提示でき

様子に配慮しながら, ジェス

他者とコミュにケーションを とりながら, 具体的に課題

・世界の諸問題について、

て,新たな情報を得るこ

とができる。

3年

て学習することができる。

な点について,質問・聞き返

・相手の発語に対して,不明 しをすることができ、自分の考

自己の学習を振り返り、

滷むい自 口評価しながら、

れてある情報を知るだ けでなく,関連のある

・学習した題材に書か

・相手の様子を観察しなが ら, ジェスチャー,アイコンタ

えを述べることができる。

学習上の課題を設定する

かなど用いて, 自分の考え を効果的に述べることができ

> ・複数のJJーディング素材 やリスニング素材から共通

κο HU

他者と意見を交わしながら 課題 への理解を深めること 自己の学習を振り返り、 適切に自己評価することが

の話題や課題を見出し,

具体的に対処することがで

各レッスンで扱われて

いる題材に関連した素

2年

材を理解することがで

・学習上の課題に対して、

ことができる。

様々な情報も知ってい

5	社会貢献の意識	・構めやの現状を正しく 理解することができる。 ・よりよい世界にするだいが、 めに、現在の課題を正して くとらえ、解や別に向けて 努力することができる。	・英語を通して、地球規模の諸課題とその解決に向けての国際貢献の現状を理解することができる。	・プロ。ペルリーダーと して社会資格・国際資報 に 時中4万 ための分類 に たっして英語で意見表 明できる。	・ 英語を通して、日本の 語 課題と その解決策や 社会宣権の 別状を 理解 することができる。 ・ グローバッリーダーと して社会資	英語で意見を表明でき、 る。	・ 英語を通して、身の回 りの諸課題とその解決 然の現状を理解するこ とができる。 ・ グローバルリーダーと して、社会貢献のあり方 について英語で経案で	୍ଦି ୧
4	リーダーンップ	・発電的な対場になっ インダイを信値機の強い を成け入れるでもできます。 からした。 ・ファーブ内の自分の容 がメントできる。 ジメントできる。	・対話や議論が日滑に図られるよう、タイムマネジメントをしながら、他者の意見を引き出した	たりできる。 クルイ・イタンフィ会ネー クルバー 自分の変配を参加 たがパンコニューケッフ・ソー ファコンボット に、縦側で着たな 可個の落型。クリイイ 可個の落型。クリイイ できる。	・対語や議論が円滑に図 られるよう, 他者の意見 を引き出したり, アイデ イアをまとめたりでき る。 グループやクラス全体	ななが、5 コミュニケーション・スペガ、5 コミュニーケーション 不動々コーディネート 「 協働で着たな 問題の発見ができる。	・対話や議論が日強に図 られるよう。目ら進んで 意見を述べたり、アイデ イアをまとめたりでき る。 ・グループやクラス全体 を見て、自分の役割を考 されば、し、	スなからロ、ココニケー ション活動をローディ ネートできる。
3	コミュニケーション能力	・毎年の公園になって 情報や多大力を打しく 種子のことができる。 ・毎年の大場になって、 ・イエングライトやジェイ イエングライトやジェイ デーなどを放果的に用 いて意思などを伝えるこ とができる。	・文と文のつながりや段落構成等を考慮して表現するとともに、必要に応じて予算で、での事に応じて、でのので、でて与真や実験のを表示。	等、相手にわかりやすべ をして自かの機々な工夫 をして自かの機々な工夫 で表明できる。 ・ 相手の反応に ・ A まつり場や条件 考えたり 相手の反応に 券えたりして意見を終れ できる。	・文と文のつながりや段 特権成時を考慮し、具体 例をあげる等、相手にわ かりやすく伝えるための 様々な工夫をして自分の 高見を英語で表明でき ス	・ 和手の立場や気持ちを 者 たり、 相手の反応を 確認しながら。 相範・ な者 音楽やシェ オギ・ な者 目がたりして意見交換 ができる。	・声の大きさやアイコン タクト等。相手にわかり やすく伝えるための様々 なエ大として自分の意見 を英語で表明できる。 ・相手の反応を確認しな から、相等・つな音音楽	ヤンエイナヤーを用いた りして質疑応答ができ る。
2	課題解決能力	 PDCA サイクルを活用して自ら課題を解決することができる。 サスとおび情報を発展的に分析し、課題を発見のイグがしてうせる。 現金が大しようとする。 課金が多少別という。 ま業を多少別という。 	・世界の現状・実態から, 自分で課題を発見・設定 し、解決のために必要な 情報を収集して、根拠を 田確に 1 * 1 * 1 * 2 * 2 * 2 * 2 * 2 * 2 * 2 *	決策を英語で表明でき が着から標示された解 ・他者から地示された解 決策について、多面的・ 多面的に起え、より良い 解決策について意見交 機ができる。	・日本の現状・実態から 自分で課題を発見・設定 し、解決のために必要な 情報を収集した上で、理 由を付けてその解決策 か支持官化機業できる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	決略について、理由を付けて養充を表明しなが けて養呑を表明しなが ら意見交換ができる。	・身の回りの現状・実態から自分で課題を発見・設定し、理由を付けて、その解決策を実語で提案できる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	»، د چ ی س د چ ی
1	幅広く深い教績	- 国際社会を正しく理解 するすめの個点なり哲 情、教徒を有している。 ・ 米請告追して、格等 ・ 外語を通して、格等 ができる。 ・ 大語を通して、物等に ができる。 ・ 大語を通して、物等に ができる。	・教科書及び発展教材等の内容について、国際的な文化の違いも含めて特造的に理解し、カリティルの違いものでして、特造的に理解し、カリティカルに田楽し、オルに田楽して発記	的な条を構想できる。 ・ 楽器をデンーレン・ ・ 無報をファーレン・ に基づってが、 に基づいて整理し、自分 のであるいで整理し、自分 のことができる。 ることができる。	・教科書及び発展教材等 の内容について、国際的 な文化の違いも含めて 正備に理解し、思考を深 めることができる。 ・共語をツールとして、 ・特部を少ールとして、 ・特部を切し、・特別を加速し、 ・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速し、・特別を加速した。・特別には、特別を加速した。・特別を加速したりまた。・特別を加速した。・特別を加速した。・特別を加速した。・特別を加速した。・特別を加速した。・特別を加速した。・特別を加速した。・特別を加速した。・特別を加速した。・特別を加速した。・特別を加速したりは、特別を加速した。・特別を加速したりはりまたりは、特別を加速したりはりまたりまたりはりまたりはりまたりはりまたりはりまたりはりまたりはりまた	に表えて、10分の人を選び、10分の人を選び、10分の人を選び、10分の人をなっていたがらから、10分の人をなる。 まる。	・教科書及び発展教材等の内容について、国際的な文化の違いも含めて 正確に理解することが できる。 ・ 英語をツールとして、 ・ 英語をツールとして、 ・ 手が高い はいかい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい ハエー・	て止離に無罪し, 分析であったとができる。
No.	資質能力	角军記		34		24年	1年	
5	社会貢献の意識	・国内や国外の支債・事務 について高い意識を有して いる。 ・ 原文化を理解し、その知識 を社会・国際資献につなげ ることができる。 ・ 自分たりの社会とりよ くするために今かる問題に	目を向け,解決に向けて努 力することができる。	・国内外の問題についてつお に課題意識を持っており、さ 注意主意な場合の表えることが できる。 ・その問題に、取留解決の条 頭便を認識し、課題解決の条 加え他者と共有し、ともに独り 強く考えることができる。		・国内外の問題について知識 があり、我が国だけでなく他の 国や自分や自分以外の立場 から論理的に考えることがで きる。 ・その問題について自分でと	ことができる。	・国内外の問題について学 び,その現状を理解することが できる。 ・その問題について自分の意 見を持つことができる。
4	アーゲージップ	・考え方の違いや価値観。 文化的複数を受け入れる ことができる。 ・グループ内における役割 を理解し、対等に議論でき る。		・ガループワーグ・ペアワーグ において相互に繋着を払い ながら、対等に議論をするこ とができる。 ・共通の課題に対して、その 解決に同けて資報することができる。 が存きる。 ・多様な価値観を受け入れ ることができる。		・ガルーブワーグ・ペアワーグ において自ら主体的に役割 を理解し、議論することができる。 る。 ・共通の目的達成に向けて 他者に働きかけることができる。	・自分の価値最と衝突するものに対して、その存在を認めることができる。	・ゲループワーク・ペアワーク において与えられた役割を 果たすことができる。 ・共通の目的達成に向けて 事段や方法を探すことがで きん。
1	I ~	1.0 11 D P1 A1 0 -1/	. 0	Lit 4/ it Al 20 O S it i	_	I me tot ste out to a t	des	m AL LL 461 A

・自分の考えを効果的に述

使用することができる。

・自己の学習上の課題を

発見することができる。

べるためのジェスチャー,ア

・学習した内容に関して, 課題や疑問点を見出し,

理解できている。

1年

・多様な文化や価値観に関

イコンタクトなどの手法を知

っている。

他者と情報交換することが

心を示すことができる。

な点を明らかにする表現を

頻繁に使われる語句や 全体的な概念と具体 的な情報が結び付いて

表現を知っている。

扱われている話題で

・相手の発話に対して,不明 知っており,それを積極的に 24

Global Can-do List (高校 家庭) 目指す生徒像:循環型社会推進に向けて知識・理解のみに留まらず, 様々な場面においても自ら考えて行動し実践できる生徒

	24 AE	便	
2	社会貢献の意識	生涯を見通して生活課題 地球に生きる生物の一員 に対応した意思決定者 として循環型社会推進の し、責任ある行動が取れ ためにすべきことを理解 るととに、状況に応じ し実践できること。 て的確な判断ができるこ	 ・各分野の実習等におい、・各分野に関して、環境でで、家庭生活を充実改善に対する負荷の権減や安度しようとする積極的な態金に配慮した消費行動の在り分子について理解を深なりにおいている。 ・班単位で行う実習活動 日常生活においても実践などにおいて的確な判断できる。 ・実庭クラブ活動をはじめ、は、様々な社会質権活動に導く力が身に付いてい、。実庭クラブ活動をはじる。 ・実庭クラブ活動をはじる。
4	プルグーダー U		- 各分斯においてスムー - ・各分野においてスムー - ・名分野の実習等におい - スな実習が行え、必修課 - で、家庭生活を先集改善 - の効果的な発表ができ 度が身に付いている。 - 5。 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3	コミュニケーション能力	相手の活動を理解した適 切な行動が取れ、お互い を思いやりながら、連携 してスムーズな活動を行 うことができること。	・家族や地域の生活の中 ・ 4分野においてスムーで生じる課題を生活活動 ズな実習が行え、必修課 や生活資源と関わらせな 題(ホームプロジェクト) がら、主体的に解決する の効果的な発表ができる。 4台の家庭生活の中で ・ 発表を意識しながら必誤してデーマを 修課題をレポートにまと設定し、生活を光楽向上 め、自分の寒酸均容を分裂でして一て大きに上体的に計 かりやすく発表し、伝え 音・評価をして次の課題 ちことができる。 さる。
2	課題解決能力	生活の充実向上を図る能力が契行付き、実際や地域の生活課題を適切に制度し、工夫し、創造し、工夫し、創造し、可をることができること。	
No. 1 2 3 4 5 5	幅広く深い教養	人の一生と家族・福祉。 女食任、消費生活などに 関する基礎的・基本的な 知識と技術を習得し、生 活を科学的に追究してい くことができること。	・各分野において日本の 文化・伝統とともに世界 の各地域の文化等につい ても理解し、地球に住き 名生物の一員として循環 型社会権値のために あるべきか理解できる。
No.	資質能力	解說	1 年

Global Can-do List (中学校 家庭)

No.	に際・ナヨンハギがる	5.61 17.7.7.7.1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	F1指 7 工作隊・丁目 C C 字 T P G 工 T C C C C C C C C C C C C C C C C C C	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	1
資質能力	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識
角军武	衣食住に関する基礎 的・基本的な知識や技 術を習得し、個人の生 活と社会や環境・資源 との関わりについて理 解できる。	社会や他者との共生の 視点で、女食住や家族 の生活について見直 し、課題を見つけ、そ の解決を目指して、工 夫し創造することがで きる。	生活に関する知識、技術 の習得、実践的・体験的 な学習活動を通して、他 者との関わりについて理 解を深め、よりよい人間 関係を築くことができ る。	自立に向けて家庭生活 に積極的に関わり、他 者との共生の視点で家 施や社会をよりよくす ることを考え、そのた めに知識と技術を進ん で活用できる。	環境、資源、社会と生活との関わりを考え、 街との関わりを考え、 他者を思いやり、共に 生きていこうとする態 度を身に付けている。
	【布を用いた製作】 ミシンの基本的操作や 基礎縫いの使用箇所と 方法を理解できる。	[布を用いた製作] 完成後の活用方法を考 慮しながら、効率良く 実習を進めることができる。	「布を用いた製作」 布を用いた製作品の作業 手順や作業方法につい て、グループ的で点後し 合うことができる。	[布を用いた製作] 布を用いた製作に関す る技術を活用し、家族 の生活を豊かにしよう としている。	「布を用いた製作」 環境や資源に配慮した 女生活のために、補修 技術を身に付け、女服 の活用を実践すること ができる。
3年	[幼児] 幼児が有つ環境として 遊びを抱めを創や幼児の 遊び・おもちゃの意義 を理解できる。 [私たちの消費生活] 消費者基本的な権利 と責任、消費者基本法 の應旨を理解し、消費	[幼児] 幼児の落態段階に合わせたおもちゃを工夫し 世たおもちゃを工夫し 製作できる。 【私たちの消費生活】 買い物や契約の甘産点 から、消費者トラブル から、消費者トラブル えることができる。	「幼児」 ロールプレイングを通し て幼児の発達段階に応じ た接し方ができる。 【私たちの消費生活】 環境に配慮した消費生活 について他者と積極的に 意見を交わすことができ る。	[幼児] 幼児の生活に関心を持 ち、将来を見通して幼 収との関わり方を考え ている。 (私たちの消費生活) 糠%に配慮した消費生 活しいて積極的に調 活していて積極的に調 大上、実践しようとしている。	[幼児] 仕会の中での子どもの 存在について考えるこ とができる。 [私たちの消費生活] 環境に配慮した生活の 重要性に気付き消費・者 こしての自覚を持つ て、消費生活を実践し ようとしている。
	[食品の選択] 食品の特徴や品質の見 分け方について理解できる。	【食品の選択】 食品の品質を見分ける ために必要な情報を読 み取り、選ぶことができる。	[調理実習] 実習を通してグループ内 で手順に従い、相互に協 力することができる。	[編理実習] 先を見通した効率の良 い実習を進めることが できる。	【食品の選択】 食に関わる問題の解決 に向けて日常生活で自 分ができることを実践 しようとしている。
2 年	【女生苗と目立】 女服の社会生活上の働 きや日常の女服の手入 れの方法について理解 できる。	校生苗と目立 - 手持ちの交服を調べ、 環境や資源に配慮した 交服の活用方法や交服 計画を考えることがで きる。	旅生店と目立】 環境に配慮した女服の活 用について他者と解範的 に意見を交わすことがで きる。	女生古と目立 衣服の材料や状態に応 じた手入れを 日常生活 で実践しようとしてい る。	「女生苗と目立】 環境に配慮して衣服計 画を立て、衣服の活用 や管理の方法を実践し ようとしている。
	[住生活と自立] 家族の生活行為と住空 間との関わりを理解 し、安全で快適な住ま いの整え方を理解でき る。	信住活た自立】 室内環境について課題 を見付け、様々な人の 立場から安全で快適な 室内環境の整え方や住 まい方を考えることが できる。	【住生活と自立】 安全で快適な住まいにす る方法について積極的に 意見交換し、グループで 筋力することができる。	【住生活と自立】 安全で快適な住まいに する方法について、積 極的に資料を集めて活 用できる。	【住生活と自立】 環境に配慮した住まい 方の工夫を, 日常生活 で実践できる。
-	【家族と家族関係】 よりよい社会を築く基 盤としての家族の機能 を理解できている。	【家族と家族関係】 家事調ペやロールプレ イングを通して、より よい家族関係のために 自分の役割を考えるこ とができる。	「家族と家族関係】 ロールプレイングを通し て、家族関係がよりよく なるように、家族の気持 ちを考えることができ る。	【家族と家族関係】 自分の将来について関 心を持ち、家族関係を よりよくする方法を実 践しようとしている。	「家族と家族関係」 家庭と地域との関わり について考え、地域の 中で自分ができること を見つけ実践してい る。
-	【食生活と栄養】 健康の意義。食習慣の 重要性や食事の役割。 栄養の特徴について理 解している。	【樹立作り】 季節や好みなど様々な 観点から自分に必要な 栄養を満たす1日分の 献立作りができる。	「献立作り】 グループで積極的に意見 交後しながら、テーマに 沿った献立作りをしよう としている。	【食生活と栄養】 自分や家族の食生活の 課題を見つけ,家庭生 活の中で実践しようと している。	【食文化】 郷土 ^於 理や行事食につ いて、家庭や地域の人 から話を聞き、伝えて いこうとしている。

Global Can-do List (中学校 技術)

目指寸生	3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	۲	習した事柄を進んで生活の 。	学習した事柄を進んで生活の場で活用する能力や態度を身につけている生徒 	を身につけている生徒	
w 質 質 七	幅広く深い教養	課題解決能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ	社会貢献の意識	- 2
(A)	材料と加工,エネルギー 変換,生物育成及び情報 に関する技術についての	材料と加工, エネルギー変換, 生物育成及び情報 に関する技術の在り方や	ものづくりなどの実践 的・体験的な学習活動を 通して、他者との関わり	実践的・体験的な学習活動の中で、主体性を持ってコミュニケーション	変化し続ける社会に主 体的に対応しようとする意識を高められるこ	
角和影響	基礎的・基本的な知識を 身に付けた上で、技術と 社会や環境との関わりに ついて理解できているこ と。	活用の仕方等について課題を見つけるとともに、 その解決のために工夫 し、創造することができること。	について理解を深め、よりよい社会を築くことが できること。	を図り、他者や社会に積極的に関わることができること。	と。 実践的・体験的な学習活 動の内容を社会の中で 積極的に生かそうとで きること。	
	【水耕栽培】 既存の栽培方法を最新の 技術を用い、新たな栽培 技術を考えることができ る。	【水耕栽培】 様々な環境条件と生物の 育成についての技術を知 り、育成計画を立てるこ とができる。	【水鮮接塔】 個人で考察した新たな栽 塔技術をグループで提案 し、他の意見を取り入れ よりよいものに改良する ことができる。		【水耕栽培】 現在の日本の食糧自給 率を向上させるために、 効率よい栽培方法を考 えることができる。	
3年	[ⅢMの学習] *Neb ページの構造を理解し、ソースを誘力取り 編集することができる。 ・多様なメディアを複合 し、表現や発信ができる。 ・発信者として、著作権 ・発信者として、著作権 ・発信者として、著作権 ・発信者として、著作権		[HTMLの学習] ・情報に関する技術に関 わる倫理観念身に付け、 権極的に情報を発信する ・見る人を意識した情報 発信ができる。		[HTMLの学習] ・Web ページの構造を担 ・Web パージの構造を発し、 情報発信をすることが できる。	
			【生物を育てる技術の評価・活用】 価・活用】 自分の意見を明確に発言 でき、他者の意見を聞くことができる。 ことができる。	【生物を育てる技術の 評価・活用】 他者の意見を開き、最適 僧を導き出すための話 「所を考ま出すための話 ができる。	【生物を育てる技術の 評価・活用】 ・ 環境に対する負荷の艦 減や交全に配慮した栽培がたついて考える ことができる。 ・ よりよい社会を築くた ・ よりよい社会を築くた ・ よりよい社会を築くた 技術を成に関する 技術を適切に評価し活	
2 年	「身の回りを機理する作品) ・製品の材質や信用的 に合った核合方法や、仕上げ方法を調べる。 ・材料加工において使用 する工具の構造を使用が 法を理解した様できる。 ・工作機械の動力伝達と 構造を理解した上で、機 機作業の安全に配慮して 作業を行うことができる。 ・素材や用途に合った。 ・素材や用途に合った ・表れを用途に合った ・表れを可能に合った。 ・表れを可能に合った。 ・表れを可能に合った。 ・表れを可能に合った。 ・表れを可能に合った。 ・表れを可能に合った。 ・素材を可能に合った。 ・素材を可能に合った。 ・素材を可能に合った。 ・素材を可能に合った。 ・素材を可能に合った。 ・素材を可能に合った。 ・素材を可能に合った。 ・素材を可能を理解して	(身の回りを整理する作品) で、安全に作業することができる。 ・ 大型に合わせて工具を通い能ので、 ・ 大村に合わせて工具を通いに使い正確に部品取りを加工することができる。 ・ 部品を加工することができる。 して、安全に作業することができる。	身の回りを整理する作品 ・製作図や部品表を読み である。 ・作業の姿勢や材料の固 だなどを気づいたことを 相互に表現することができる。 きる。	【身の回りを整理する 作品】 ・製作図や部品表を能み 取り、積極的に他者の部 品点検ができる。	「身の回りを機理する 作品」 ・使用者の安全に配慮し ・使用者の安全に配慮し と設計と製作を考える ・社会や環境との関わり について理解し、製作し たれまを大切に長く活 用しようとしている。	

	【エネルギー変換】	【ダイナモラジオの製	【エネルギー変換】	【エネルギー変換】	【エネルギー変換】
	\sim	作】	・エネルギー資源の課題	・回路図や回路計を使	・エネルギー資源の有効
	用方法についた調べ、よ	・目的に応じて部品を組	や有効活用について, 意	い, 積極的に他者の部品	活用のため, 省エネルギ
	うとする。	み合わせた電気回路を考	見を交わすことができ	点検ができる。	ーや効果的なエネルギ
2年	・はんだごてを適切に利	えることができる。	8		一活用について考える
	用して部品の取り付けが	・回路計を使い簡単な電			ことができる。
	できる。	気回路の点検や故障箇所			
		の特定ができる。			
	【フポート製作】				【フポート製作】
	情報技術に関する基本的				よりよい社会を築くた
	な仕組みと, ネットワー				めに,情報に関する技術
	クの安全な利用方法につ				を適切に活用すること
	いて理解できる。				ができる。
	【情報モラルとネットワ	【情報モラルとネットワ	【情報モラル】		
	-2]	-7]	情報に関する技術に関わ		
	望ましいパスワード決定	パスワードと I Dの管理	る倫理観を身に付け, 知		
	の方法や扱い方を理解	について理解し, 生活の	的財産を適切に活用でき		
	し、設定することができ	中でも生かすことができ	2°		
	200	5.			
	【制御ロボット】	【制御ロボット】	【制御ロボット】	【制御ロボット】	
	制御の流れを流れ図に表	制御ロボットの機能を理	目的や条件によって、流	自ら課題を設定したプ	
7	すことができる。	解して, 自ら課題を設定	れ図を作成してプログラ	ログラムを流れ図を用	
+		しプログラムを作成する	ムを協力して作成でき	いて, 積極的に説明でき	
		ことができる。	8°	8	
	「ディジタル作品の設	【ディジタル作品の設	【ディジタル作品の設		
	計・制作】	計・制作]	計·制作]		
	・スライドを活用し,原	プレゼンテーションソフ	アクセシビリティやユニ		
	稿作成や発表者ツールを	トウエアを使いスライド	バーサルデザインの観点		
	使うことができる。	を作成することができ	から誰が見ても見やすい		
		5.	ディジタル作品を制作で、		
			S) S)		
	【身の回りを整理する作	【身の回りを整理する作			
	ll ll	lm]			
	身の回りの製品に興味を	キャビネット図や等角図			
	持ち,進んで製品を調べ	を用いて製作品の構想を			
	ようとする。	まとめることができる。			

Global Can-do List (高等学校 未来航路)

5つの資質・能力	資質・能力の主な内容(目指す生徒像)	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
	・世界における日本の立場や役割を理	世界における日本の立場や役割とは	世界における日本の立場や役割を理	世界における日本の立場や役割につ	世界における日本の立場や役割につ
	解している。	何かを探究したいと考えている。	解するためにメディア等を通して情	いて自分の意見を持っている。	いての自分の意見を発信している。
幅広く深い教養			報や知識を得ようとしている。		
	各教科で習得した知識や技能を課題	各教科の学習における到達目標を知	各教科が設定した到達目標に概ね、到	各教科で習得した知識や技能を関連	各教科で習得した知識や技能を総合
	解決にいかすことができる。	っている。	産している。	づけて理解することができる。	的に活用することができる。
	・現状を分析し、グローバルな視点で	課題意識をもって身近な事象を観察	身近な事象の中から、疑問や課題を発	発見した疑問や課題をグローバルな	発見した疑問や課題を整理し、わかり
	課題を発見することができる。	することができる。	見することができる。	視点から把握することができる。	やすく説明することができる。
	・問題把握や課題解決に必要な情報を	情報収集に必要な能力(図書館利用や	問題把握や課題解決にどのような情	収集した情報を課題解決につながる	収集した情報を読み解くことによっ
	収集することができる。	ICT活用等)を有している。	報が必要か見通しを立てることがで	ように読み解くことができる。	て、新たな情報を収集したり読み解く
課題解決能力			°° Nu		ことができる。
	・論理的に課題の解決策を考え、評価・	設定した課題の原因や背景を理解し、	課題解決のために必要な計画を立て	収集した情報を活用して、論理的に評	評価・検証をもとに、新たな課題を見
	検証を行うことができる。	説明することができる。	ることができる。	価・検証することができる。	いだすことができる。
	・他者と協働し、創造的に課題を解決	課題解決に向けて、意欲的にグループ	課題解決に向けて、自分の意見やアイ	課題解決に向けて、他者の意見やアイ	自他の意見やアイデアを統合して、創
	することができる。	に入っていこうとする姿勢を示す。	デアを述べることができる。	デアを受け止めることができる。	造的に課題を解決することができる。
	・自分やグループの意見を論理的に説	作成した原稿を読んで、説明すること	聞き手を意識しながら、作成した原稿	巧みな話術を駆使して、説明すること	聞き手を配慮するとともに説得力に
	明することができる。	ができる。	を読んで説明することができる。	ができる。	溢れた説明をすることができる。
	・多様な人の考えや価値観を理解する	他者の意見を傾聴することができる。	他者の意見を聞いて、メモをとったり	他者の意見を受け止めたうえで、建設	他者の意見や他者との意見交換によ
コミュニケーション	ことができる。		質問することができる。	的に自分の意見を述べることができ	って、自分の意見を深めることができ
能力				ő	ν _o
	・ICTを用いて、意見等を収集し発	ICTを用いて、ポスターやスライド	写真や図などの入った資料を作成す	グラフ化したデータなどの入った資	主張を効果的に伝えたり、聴衆の立場
	信することができる。	などの資料を作成することができる。	ることができる。	料を作成することができる。	に立った分かりやすい資料を作成す
					ることができる。
	・課題解決に向けて明確なビジョンを	課題解決に向けて、自らのビジョンを	課題解決にむけてのビジョンをメン	自らのビジョンについて、メンバーと	メンバーとの議論によって、自らのビ
	示すことができる。	もつことができる。	バーに示すことができる。	議論することができる。	ジョンをより明確にできる。
	・メンバーとビジョンを共有すること	課題解決に向けて、自らのビジョンを	メンバーのビジョンを理解すること	自他のビジョンについて、議論するこ	自他のビジョンを統合して、グループ
	ができる。	もつことができる。	がつゆる。	とができる。	としてのビジョンをもつことができ
リーダーシップ					Ŷ
	・課題解決に向けて、協働して取り組	協働して取り組むよう働きかける意	メンバーのモチベーションを高める	協働した取組の進捗を把握し、コント	協働して取り組んだ成果や手応えを
	むよう働きかけることができる。	欲がある。	よう働きかけることができる。	ロールすることができる。	もつことができる。
	・メンバーの資質・能力や適性をいか	メンバーと課題解決に向けた話し合	メンバーー人一人の資質・能力や適性	グループ内の役割分担や計画を立案	メンバー全員が達成感をもつことが
	すように働きかけることができる。	いができる。	を把握することができる。	することができる。	らゆる。
	・社会貢献や国際貢献の重要性につい	身近な地域への貢献の意欲をもって	いま自分ができる社会貢献や国際貢	将来の自分ができる社会貢献や国際	将来の社会貢献や国際貢献のための
	て理解している。	いる。	献が何かを理解している。	貢献について見通しをもっている。	進路目標をもっている。
	・現代社会の諸問題を自らの課題とし	自らの果たすべき役割を考えながら、	取り上げた課題について、いま自分が	取り上げた課題について、将来の自分	将来の自分ができる課題解決の実現
社会貢献の意識	て捉え、解決に向けて取り組むこと ができる。	課題追究学習に取り組んでいる。	できる解決策をもっている。	ができる解決策をもっている。	のための進路目標をもっている。
	K・ 世界の課題を解決しよ	プートの課題や特徴を理解して	身近な地域の課題を日本社会の課題	身近な地域と日本の課題をグローバ	地域・日本・世界を曹く課題に対して
	,	7.50	と結びしけた理解している。	ルな課題と結びつけて理解している。	自らができる貢献策をもっている。
			000		